

web版 図書館報 **しが**

平成 21 年(2009 年)9 月 1 日 編集・発行：滋賀県立図書館

図書館の深い使い方、味わい方

再発見

～ いろんな利用者の方々を紹介～

県立図書館がこの瀬田に移転してから今年で 30 年目を迎えます。当時わずかだった樹木は、今は豊かな枝葉を広げています。この図書館を利用される方も、これらの木々のように年々広がりを見せ、今では年間延べ 35 万人となり、今後益々、資料・情報の提供等の充実が期待されています。図書館を利用される方の利用方法はさまざまだと思います。この号では、利用者の方々にご登場いただき、図書館の深い使い方や味わい方を紹介したいと思います。



図書館前のアメリカカフウ（楓）の木

親子孫三世代のご利用



(親子孫三世代で利用の阪口さんご一家)

ある土曜日の午後、児童室でこんもり人の山。おばあちゃんと息子さんと二人のお孫さんの計四人で児童書のさがしものページに夢中のような。その風景がとてもほのぼのとしていました。最近はこのご家族のように三世代でご利用いただくことや、おじいちゃん、おばあちゃんとお孫さんといった間柄でご利用になることが多くなりました。

阪口さんご一家は息子さん(今のお父さん)が小さい頃から図書館を使い始められ、長年にわたって利用されています。「子どもの利用が自分の小さい頃の繰り返しのように感慨深い。」とおっしゃっておられた息子さんの言葉が印象的でした。

暮らしに役立つ図書館

「配水管が壊れたので、修繕の本はある？」とか「都市計画の本は？」「介護認定の基準について調べたいのだけど。」等々、カウンターでは毎日いろんな質問をお受けしています。インターネットと違い、じっくり調べて確かな情報を得るには本が最適です。また、古い資料から新しいものまで、図書館には100年単位で比較ができるものがあります。どうぞ、日々の疑問や問題解決に図書館をご活用ください。

最近の図書館の利用状況は、3年間連続で年間貸出冊数が100万冊を越えています。昨年度の実績で見ると、年一回以上利用される方が32,200人(一般26,700人、小学生以下5,500人)おられました。利用者お一人の平均で見ると、一回の貸出で4.1冊、年7.6回来館され、一年間で31冊の貸出がありました。みなさまの利用に支えられ、今後も暮らしに役立つ図書館でありたいと思います。



ライフワークと図書館



(滋賀むしの会のみなさん)

利用者の中には、長年にわたり一つのテーマを研究したり、趣味に興じたりされる方も多いと思います。そんな中で“滋賀むしの会”のみなさんは、昆虫をこよなく愛し、ライフワークとして研究しておられる方々です。「図書館は収集した昆虫の同定のため、また、昆虫や関連の新しい知識を得るために利用している。」とのことでした。

毎年、夏休みに、図書館の玄関前で、“昆虫相談会”を開催し、子どもたちの自由研究や大人の研究者の相談にのっておられます。今年も8月22日(土)に開催されました。今年で四回目になりますが、年々賑やかになっています。

執筆活動の情報源としての図書館



畑 裕子 (ゆうこ) さんと著書

竜王町にお住まいの畑裕子さんは、この程サンライズ出版 (彦根) から『花々の系譜 浅井三姉妹物語』を上梓されました。この本には、長浜小谷城主であった浅井長政と織田信長の妹お市の方との間に生まれた三姉妹、茶々 (後の淀殿) お初、小督* (おごう) らが登場します。彼女らを翻弄 (ほんろう) した戦国時代を、主に次女・お初の目を通して描かれています。長政の落とし胤である万寿丸 (後の喜八郎) の存在が、物語の随所でいい味わいをにじませています。

著者は、20年にわたって県立図書館を利用されており、「執筆のための資料とした本は、県立図書館にしかない場合が多く、

書庫や貴重資料室の本、地図などおおいに役立たせて頂いている。私にとっても県立図書館はなくてはならない存在である。」とお言葉を頂戴しました。以下、この本を執筆されるために参照された資料のうち、主なものを紹介します。

小督 (おごう) についてはお江 (おごう) お江与 (おえよ) など諸説があります。

『花々の系譜 浅井三姉妹物語』 サンライズ出版 2009年刊より 主な参考文献

(右端に請求記号があるものが当館所蔵資料)



- 小和田哲男『戦国三姉妹物語』(角川選書)(S-2868-97)
- 小和田哲男『豊臣秀次「殺生関白の悲劇」』(PHP新書)(S-2841-02)
- 長浜城歴史博物館編『戦国大名浅井氏と北近江』(サンライズ出版)(S-2860-08)
- 長浜城歴史博物館編『戦国浅井戦記 歩いて知る浅井氏の興亡』(サンライズ出版)(S-2461-08)
- 太田浩司『近江が生んだ知将 石田三成』(サンライズ出版)(S-2861-09)
- 「琵琶湖がつくる近江の歴史」研究会編『城と湖と近江』(サンライズ出版)(S-5200-02)
- 中井 均編『近江の山城ベスト50を歩く』(サンライズ出版)(S-2900-06)
- 淡海文化を育てる会編『近江戦国の道』(サンライズ出版)(S-2400-95)
- 桑田忠親『桑田忠親著作集第七巻 戦国の女性』(秋田書店)(2-2100-7)
- 桑田忠親編『太閤書信』(地人書館)(2-289*-タ*)
- 渋谷美枝子『戦国天使 京極マリア』(叢文社)(S-9560-97)
- NHK取材班編『そのとき歴史が動いた』第20巻(KTC中央出版)(G-2100-20)
- 朝尾直弘『ジュニア日本の歴史4 戦国の争い』(小学館)(7-21)
- 「み～な びわ湖から」97号 「浅井家をめぐる女性たち」(長浜み～な協会)(所蔵雑誌)
- 別冊歴史読本56 『戦国武将最後の戦い』(新人物往来社)
- 小浜市立図書館編『常光院殿』(小浜市立図書館)
- 菊池真一編『おあん物語・おきく物語・理慶尼の記本 文と総索引』(和泉書院)
- 中川龍晃『豊臣秀次公一族と瑞泉寺』(瑞泉寺)

居場所としての図書館

以前なら、図書館といえばちょっと敷居の高いところといったイメージがりましたが、昨今では頻りに利用する日常施設といった感覚が普通になりました。

例えば、図書館が午後の散歩の途中で寄るところであるとか、2週間に一回病院の帰りに寄るところといった具合です。また、館内でゆっくり過ごされる方も多くおられます。使い方は人それぞれです。あなたにあったご利用をお待ちしています。



2F 雑誌コーナーの風景

今月のBOOKまーく

ご存知ですか？ フロア案内



毎週、土曜日、日曜日の午後、「フロア案内」と書かれた腕章をした職員が、館内を巡回しているのをご存知ですか。「初めて図書館に来ただけど、利用カードはどこで作るんだろう？」「琵琶湖のことについて調べたいんだけど、どの本棚にあるんだろう？」など、調べたいことはわかっているけど、どこにいけば本があるのかわからないで、書架のサインや案内板を頼りに、閲覧室をあちこち行ったりきたりされている人を多く見かけます。探したい本、調べたい本やわからないことをもっと職員に尋ねていただき、みなさんの本探し

や図書館利用のお手伝いができるよう、6月から質問や問い合わせに応える「フロア案内」係による館内各閲覧室の巡回を始めています。

どうぞ、気軽にお声をかけてください。

10月に「経済危機対策支援図書コーナー」を設置

サブプライムローン問題に端を発した昨年秋からの世界同時不況に対処するため、政府は様々な経済対策を実施していますが、図書館ではこのほど、国の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を受けることができました。

図書館では、この交付金により、新たな資格取得やキャリアアップに必要な能力開発などの再就職支援図書、技術開発や新しい事業創出による地域経済を活性化させるための企業支援図書、少子高齢化社会に対応した子育て支援図書等を購入し、10月に「経済危機対策支援図書コーナー」を設置する予定です。このコーナーの図書が活発に利用され、経済危機への対応に役立てていただければと思います。

今月のデジタルアルバム帖

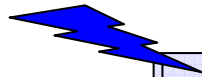
8・9月「地震の記憶 - 姉川地震を中心に -」

100年前の明治42年(1909)8月14日におきた姉川地震は、東浅井郡東草野村(現、米原市)を震源とするマグニチュード6.9で、日本内陸部に震源地をもつ地震の中では最大級の地震でした。当時の状況を写真などで紹介しています。

【右の写真】日本赤十字社滋賀支部救護班とテント
(『滋賀県震災救護誌』表紙)



10・11月「多賀の社と湖東三山(仮題)」



FLASH ふらッシュ



今夏、図書館で催したイベントについてご紹介させていただきます。

まずは、毎年恒例となりました『夏休み文化ゾーン子ども探検隊』。

暑さも本格的になってきた7月31日、図書館では、普段入ることのできない地下書庫に隊員たちが潜入しました。しかしそこには、書庫を守る番人が！番人は、勝手に入ってきた隊員たちにかんかんです。

「ここから出たければ、指令書どおりの本を見つけてみる！」



書庫から脱出するため、親切な精霊や妖精に力を借りて、隊員たちが本を探しにむかいます。

たくさんある本の中から、無事に指令書にあった本を見つけ出した隊員たちは、元気よくその後の探検（近代美術館・管理事務所・埋蔵文化財センター・東大津高校）にむかっていきました。

次にご紹介するのは、戦中「学級日誌」展と講演会

～戦時下の小学生が考えたこと～ です。

8月2日、講演会場となった大会議室には、小さなお子さんから年配の方まで、70名を超える方がお越しくださいました。

瀬田国民学校卒業生の方からは、日誌にまつわる思い出をお聞きすることができ、65年前の学校生活が会場にいる私たちにも、いきいきと思い浮かんできました。

また、戦時中とは思えない色鮮やかな学級日誌ができあがった背景には、当時の担任の先生や校長先生の思いが強く影響していたことなども知ることができ、大変貴重なお話をうかがうことができました。



他にもいろいろ、夏の思い出。みなさんは、いくつ参加して下さったでしょうか？（下図参照）



夏休み 科学教室
ドーナツ形の輪の不思議
8月7日 金



夕涼み おはなし会
8月15日 土



昆虫相談会
8月22日 土

湖 国 の 本 棚



『伊吹山案内 - 登山と山麓ウオーキング - 』

草川啓三著 ナカニシヤ出版 2009年 1,995円(税込み)

本書は、滋賀県の最高峰であり、日本百名山*の一つでもある伊吹山を紹介した本です。著者は滋賀県草津市に在住で、滋賀や京都の山々を40年の長きにわたって歩き続けておられます。丹念に撮影した花々や、四季折々の伊吹山の風景が絶品です。一度は登ってみたいくなるのは私だけでしょうか。是非ご一読ください。

草川氏の著書は他に『近江の山を歩く』(ナカニシヤ出版)、『近江の峠』(青山舎)、『伊吹山自然観察ガイド』(山と溪谷社)など多数あります。

「日本百名山」とは、登山家かつ文筆家の深田久弥の随筆名であり、深田百名山とも表記されます。

郷 土 資 料 紹 介

平成21年5月～7月購入・寄贈分

物づくり大好き花愛し

高野喜代造著 高野喜代造 2009年

しがらきの神社・寺院

信楽町郷土史会編 信楽町郷土史会 2009年

ふるさと春日

ふるさと春日編纂委員会編 甲賀市水口町春日区 2009年

甲良の賜 平成19・20年度甲良歴史文化友の会講演会講演録

甲良歴史文化友の会企画・編 甲良町教育委員会 2009年

唐崎の渡来人

松野孝一編 松野孝一 2009年

信長暗殺は光秀にあらざ

馬野秀行著 イースト・プレス 2009年

中世の紛争と地域社会

蔵持重裕編 岩田書院 2009年

義に生きたもう一人の武将石田三成

三池純正著 宮帯出版社 2009年

石田三成 悲劇の智将

宝島社 2009年

京みち歩き 街道&まちなか京都・滋賀38コース

京都新聞出版センター編刊 2009年

南大萱という世界

吉村文成編 南大萱資料室監修 南大萱資料室 2008年

とりもどせ!琵琶湖・淀川原風景

水辺の生物多様性保全に向けて

西野麻知子編著

サンライズ出版

2009年



翔 [滋賀県種苗生産販売協同組合] 創立50周年誌

滋賀県種苗生産販売協同組合編刊 2009年

里山学のまなざし 森のある大学から

丸山徳次, 宮浦富保編 昭和堂 2009年

里山から見える世界 文化としての自然

龍谷大学里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター編刊 2009年

美を超えて 国宝・近江

井上匠写真

河部光男文

京都新聞社編

京都新聞出版

センター

2009年



湖風 社団法人滋賀県書道協会創立60周年記念誌

滋賀県書道協会編刊 2009年

きりえ私の足あと

持元幸子著 持元幸子 2009年

今森光彦ネイチャーフォト・ギャラリー未来へ贈る風景・里山

今森光彦著 偕成社 2009年

花々の系譜 浅井三姉妹物語

畑裕子著 サンライズ出版 2009年

大老井伊直弼 長編時代小説

羽生道英著 光文社 2009年

ジュンドロップ 父への回顧 花にのせて

上杉和子絵・文 木村徳太郎詩 上杉和子 2009年